



井上 加奈子

保育所・学校の今後の
新型コロナウイルス対策

問 新型コロナウイルス感染症の5類変更に先立ち、マスク着用の考え方、見直しなど感染予防対策が転換を迎える。保育所、学校では今後どのような対策をするか。

係る留意事項等については改めて府から通知がある予定。その内容を踏まえ、感染予防に努めていく。

問 各施設はどのような換気システムか。

二酸化炭素濃度の基準はない。

学校 1000 ppm 以下の基準を満たしている。

問 二酸化炭素濃度測定器を設置してはどうか。

答

答

答

保

公社の方向性は。

問 6月に議論した農業



中西 顯治

農業公社の構想

問 能勢の農地を一つの団体が営農する方向であれば農業生産は維持できるが、集落・里山という機能は失われていく方向に行くのではないか。

略」が各種の事業支援を示している。農業公社などの組織が活用し、経済的、事業的な支援ができるよう検討する必要があるのではないか。

答 新しい組織が全ての

答 新しい組織の設立や

保育所 児童福祉施設は
社会の安定維持の観点か
ら事業継続が要請されて
おり、今後3つの密の
回避、人と人の距離の確
保、手洗い等の手指衛生、

保育所 24時間換気システムを備えており、1時間間に2回空気が入れ替わる。

学校 ロスナイ換気により24時間換気している。

証していきたい。測定器は検証した上で判断する必要がある。

学校 予定はない。国・府通知等に従い、その都度対応していきたい。

答 里山未来都市の実現には、里山資源を持続可能な資源として後世へと引き継ぐことが必要。後継者や担い手不足対策に取り組む必要がある。

換気等の対策を継続する。職員については引き続きマスク着用を基本に考えていきたい。

問 学校環境衛生基準で教室は二酸化炭素濃度1500 ppm以下、感染拡大防止には1000 ppm以下が望ま



農地の集約化等に向けた取組みを加速化し、就農者の育成支援、営農組織の設立支援、農作業の

学校 新学期の学校教育活動の実施に当たってマ

いとされている。教室の二酸化炭素濃度はどうか。



受委託、農作物の生産販売も視野に入れた組織を



般質問

立ち上げていくべきと考
える。

農水省の提案する「みどりの食料システム戦

